



プレスリリース
2008年12月10日

欧州ビジネス協会、トミー・クルバーグ氏を新会長に選出

欧州ビジネス協会(EBC)の新会長にトミー・クルバーグ氏が選出された。2009年から2011年までEBCを率いることになるクルバーグ氏は、日本での長きにわたる輝かしいキャリアに裏打ちされた、類まれな経験と日本についての深い理解を携えて会長職に臨む。

「このきわめて重大な時に、日本において欧州産業を代表する立場を仰せつかったことを名誉に思います。世界経済が混乱を来たし、日本が新しい成長モデルを懸命に模索している今こそ、EU-日本関係を再構築して強化する理想的な時です。退任されるリチャール・コラス会長は、EBCの認知度を高める面で際立った業績を上げ、EUと日本の政府に産業界の懸念を理解させ、成長にとって欠かすことのできない改革に努めさせてきました。こうした変革を見届けるためにすべてEBC会員および関係者と協力することを心待ちにしています。」

クルバーグ氏は、実業家および外交官として日本で活動して約20年になる。ガデリウス株式会社社長ならびにガデリウスおよびABBの多数の欧州/アジア子会社の会長を歴任。1994~99年にはスウェーデン貿易公団の代表を務め、在京スウェーデン大使館の商務参事官に任じられた。

クルバーグ氏はイケア・ジャパン株式会社を設立して2002~2006年まで同社代表取締役社長を務め、スウェーデンのこの家具小売業者の日本進出を大成功に導いた。現在、クルバーグ&パートナーズ株式会社会長を務めるクルバーグ氏は、H&Mヘネス&マウリッツ・ジャパン株式会社の日本市場参入を取締役として積極的にサポートする一方、医療機器メーカー、ガンプロABの相談役も務めている。

クルバーグ氏はEBCの会長職は初めてながら、EBCとはかねてから緊密なつながりをもっている。在日スウェーデン商工会議所の会長(2001~2004年)、EBCのメイン・ステークホルダー、ならびにEBC執行常務会(Executive Operating Board)在任中はEBC副会長を務めた。複数のEBC委員会の委員としても、長年来、活発に活動している。

EBCについて：

欧州ビジネス協会(EBC)は欧州18ヶ国の在日商工会議所・ビジネス協会にとっての通商政策部門であり、1972年に設立されて以来、在日欧州企業にとっての通商・投資環境の改善を目指し、活動を続けている。EBCの会員は法人と個人を合わせて現在3,000を超しているが、会員はすべて各国の商工会議所に所属し、日本で活動している。会員企業の中で約350社が、EBCの29の産業別委員会に直接参加している。EBCは、在日欧州(連合)商工会議所として経済産業省に登録されている。

詳細についてのお問い合わせ先：
ヤコブ・エドバーグ、EBCポリシー・ディレクター
Tel: +81-3-3263-6222 E-mail: ebc@gol.com